

まちかど

アルバム



あおや鳴り砂ビーチフェスタ

青谷町井手

日本有数のきれいな鳴り砂の浜として知られる青谷町の井手ヶ浜海岸で、7月30日(土)、「あおや鳴り砂ビーチフェスタ」が開かれました。

市内外から小学生とその保護者、一般の参加者など、約100人が参加。全員での海岸のゴミ拾いの後、サーフィンや磯の生き物調べ、砂遊びや貝がらなどの漂着物を使ったアクセサリーづくりなどを、グループに分かれて行い、最後はみんなで会食。子どもたちは、大自然の中で生き生きと活動に取り組んでいました。

砂見太鼓で桃まつりを盛り上げ

神戸小学校体育館

7月31日(日)、毎年恒例の神戸地区桃まつりの開催に先駆け、神戸小学校の児童が、地域の伝統芸能である砂見太鼓^{かんど}を披露しました。このアトラクションには全校児童34人が取り組み、元気のよい掛け声と息の合った太鼓のリズムで、桃まつりに訪れた約500人のお客様を歓迎。来場者は太鼓の響きにどンドン引き込まれていきました。最後に拍手喝采^{かっさい}をあびた児童たちは、とても誇らしげな表情。お祭りのスタートにふさわしい迫力のある演技でした。



民俗行事「釜やき」を体験

河原町河原

7月15日(金)、河原歴史民俗資料館で民俗行事「釜やき」が行われ、河原あゆっこ園河原幼稚園の園児46人と、民俗行事を語る会のみなさんが参加しました。はじめに、この行事の由来についてお話を聞いた後、一人ずつ餅つきに挑戦。無事につき終えた園児たちは、「初めて餅つきした」、「重たくなかったよ」と喜んでいました。つくたてのお餅に小豆と空豆の二種類のあんを包んで焼いた釜やきを、園児たちは持ち帰っておいしくいただきました。

川遊びと涼を満喫

用瀬町運動公園

7月24日(日)、用瀬町運動公園のカヌー水辺公園で、「夏の川遊びフェスティバル」が開催され、親子連れなど約70人が参加し、カヌーや大型ゴムボートで川遊びを楽しみました。講師から乗船方法などを教わると、早速、千代川へ。初めはパドルの使い方に四苦八苦していた参加者も徐々に慣れ、すいすいとカヌーを進めていきました。3月には千代川の急流を大型ゴムボートで下る「川下り」を予定。こちらも、ぜひ、挑戦してほしいとのことでした。





「砂のオブジェ」制作プロジェクト

気高町ヤサホーパーク

8月9日(火)、貝がら節の里ヤサホーパークに神話「因幡の白兔^{しろうさぎ}」をテーマとした砂像7基の完成セレモニーが行われました。この砂像は、京都造形芸術大学生18人と地元中学生・ボランティア29人が共同で3日間かけて制作したものです。それぞれの制作者が砂像の前でコンセプトや制作に対する感想を発表。参加者たちは、ローソクの明かりに照らされて幻想的に輝く砂像を見ながら、説明に耳を傾けていました。なお、この砂像は9月末まで展示される予定です。

灼熱のらっきょう植え体験

福部町海士

8月8日(月)、福部町^{あもつ}海士の実習農場で、福部中学校の1年生が地元の産業を知るための総合学習として、らっきょう^{ゆむら}の植え付けを体験しました。福部らっきょう生産組合長会長の湯邨さんから植え付け方を教わった後、全員が横一列になり作業開始。照りつける日差しと焼けるような砂の熱さの中、握りこぶし1つ分の間隔にでないに植え付けました。作業を終えた生徒たちは「思ったより大変でした。でもすごく達成感があります」と汗だくで語っていました。



泥田でサッカー

鹿野町勝谷

7月31日(日)、休耕田を活用した「泥田でサッカー」が行われました。これは、勝谷^{かつたに}地区の体育会と公民館が「夏休みの子ども思いづくりに」と企画したものです。地区内外から約50人が参加し、「なでしこチーム」と「男子チーム」に分かれキックオフ。30℃を超える真夏日の中、参加者は服が泥で汚れるのも気にせず一生懸命にボールを追いかけていました。見守っていた保護者は、「夏休みの宿題の絵日記になればいいですね」と話していました。



きれいなまちが大好き

河原町河原

7月31日(日)、「きれいなまちが大好き」を合言葉に、河原町・郵便局まちづくり協議会の活動の一環としてクリーンクリーン作戦が行われました。午前7時開始という早朝からの作業でしたが、約100人という多くの参加者が集まり、河原橋から出合橋付近までの千代川河川敷のごみ拾いを行いました。およそ1時間の作業でたくさんのごみが集まりました。参加したみなさんの協力により、大変きれいな環境になりました。



海づくりだ！ トトリンだ！！

佐治町ひまわり保育園

7月13日(水)、この秋開催される第31回全国豊かな海づくり大会のPRのため、ひまわり保育園にトトリンが来園しました。

園児たちは「好きな食べ物はなんですか」、「普段は何をして遊んでいますか」などと質問をしたり、トトリンと一緒に○×クイズをしたり、歌やダンスで楽しい一時を過ごしたようです。

最後に全員で記念撮影をした後、トトリンと1人ずつ握手をしてお別れしました。本物のトトリンに会えてとてもうれしそうでした。

